平成30年度当初予算　予算要求シート

事業区分：　重点　　マスタープラン：　3つの挑戦　低炭素　／　施策番号　1-3　・　6-3　・　　・　　局・課名：　建設局・連続立体推進課

事業名	南海本線連続立体交差事業

事業費（千円）	平成28年度決算額	平成29年度予算額	平成30年度要求額
	502,652	2,998,459	3,736,192

債務負担行為	期間	要求額（千円）
	H30　～　H31	25,000

事業概要

【目的】

鉄道の高架化により7箇所の踏切を除却し、合わせて側道、駅前線を整備することにより、安全で円滑な交通の確保、一体的なまちづくりの実現及び良好な生活環境を確保する。

【内容】

[連続立体交差事業]
・南海本線の石津川～高石市境界付近の連続立体交差化（約2.7km）
・踏切7箇所（うち歩行者ボトルネック踏切1箇所）の除却
・全体事業費：約423億円（高架施設・側道整備費含む）
・関連側道：約2.9km（東側：約1.1km、西側：約1.8km）
・連続立体交差化される駅：諏訪ノ森駅、浜寺公園駅
（※歩行者ボトルネック踏切：一日の踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和が5万以上かつ一日あたりの踏切歩行者等交通遮断量が2万以上になる踏切）
[駅前線整備事業]
・浜寺公園駅前線（延長69m、幅員20m、駅前交通広場3,700㎡）
・諏訪ノ森駅前線（延長90m、幅員18m、駅前交通広場1,300㎡）
[浜寺公園駅及び諏訪ノ森駅駅舎保存活用事業]
工事に支障となる浜寺公園駅及び諏訪ノ森西駅舎は、それぞれ明治40年、大正8年に建築された歴史的建造物であることから、次世代へ文化財的価値が継承できるよう市民と協働し保存活用を行う。

【今年度要求のポイント】

高架工事の早期着工に向け、仮線工事について、事業区間全体で進めていく。あわせて、事業用地の取得等も行う。

主な要求内容　（単位：千円）

項目	29年度予算	30年度要求額	内容・積算等
南海本線連続立体交差事業及び関連事業委託料	69,475	59,200	支障物件調査業務、用地測量業務等
公有財産購入費	335,288	408,912	買収予定面積　368㎡
補償・補塡及び賠償金	222,307	100,660	支障物件補償予定数8件、占用物件移設
工事請負費等	59,250	59,000	付替道路、建物及び事業用地基礎撤去等
負担金・補助及び交付金	2,250,335	2,953,784	仮線工事、仮駅舎工事、高架構造物詳細設計
連続立体交差事業無利子貸付金	50,000	130,000	国負担：25,000千円、堺市負担：105,000千円
その他	11,804	24,636	手数料・土地借上料等
合計	2,998,459	3,736,192	

スケジュール（経過及び今後展開）

【経過（～29度）】
H17年度　都市計画決定
H18年度　事業認可取得
H19年度　用地買収、高架構造物の設計等着手
H20年度　駅舎保存活用構想策定
H25年度　基本協定締結
H26年度　鉄道工事本格着手
H29年度　鉄道仮線工事、駅部工事等

【30年度】
・東側付替側道整備
・鉄道仮線工事
・仮駅舎工事
・高架構造物設計
・用地買収

【今後予定（31年度～）】
・鉄道仮線工事の推進
・高架工事の推進
・用地買収

その他　特記事項

みんなの審査会対象外
関連事業：－

整理番号　：　19　－　2　－　0280